

第1回 練馬区立田柄第二保育園運営業務委託事業者選定委員会
会議要点記録

平成31年3月28日(木)午後7時30分～8時30分

練馬区役所本庁舎19F 1905会議室

出席者：学識経験者2名、有識者2名、練馬区立保育園園長経験者1名、
こども家庭部長、保育課長、事務局(保育計画調整課長)

- 1 こども家庭部長挨拶
- 2 委嘱状交付
- 3 選定委員紹介
- 4 事務局より
 - (1) 区立保育園運営業務の委託計画について
委託の目的、対象園、スケジュール等について説明
 - (2) 選定委員会について
選定委員会設置要綱について説明
選定委員会設置の根拠となる要綱の確認
選定方針について説明
運営業務委託事業者の選定に当たっての選定方針の確認
審査基準表(案)について説明
 - (3) 田柄第二保育園について
保育園の概要について説明
募集要項(案)について説明
 - (4) 今後のスケジュールの確認

第2回 練馬区立田柄第二保育園運営業務委託事業者選定委員会
会議要点記録

第1回選定委員会資料の確認

平成31年4月19日（金）午前9時15分～9時30分

田柄第二保育園視察

平成31年4月22日（月）午後2時30分～3時00分、
26日（金）午前10時00分～12時00分

出席者：学識経験者2名、有識者2名、練馬区立保育園園長経験者1名、
こども家庭部長、保育課長、事務局（保育計画調整課長）
（視察のみ）田柄第二保育園園長、副園長

<田柄第二保育園視察>

- 1 園長より田柄第二保育園の概要説明
- 2 園内視察
- 3 選定委員からの主な質問と回答

Q 地域交流はどのように行っていて、どのくらい参加があるか

A 地域交流は、1日に4～5組、ふれあい給食は3組限定で行っている。
園庭開放は、原則、毎日行っている。

Q 園には保育方針はあるか

A つくっている。保育基本マニュアルは全職員に配り、読み合わせている。

Q その中で大事にしていることは何か。保育士が子どもとの関わりで大切にしていることは何か

A こどもの気持ちを受けとめること、自己肯定感をはぐくむところに力を入れている。

第3回 練馬区立田柄第二保育園運営業務委託事業者選定委員会
会議要点記録

令和元年6月28日(金)午後8時～8時30分

練馬区役所本庁舎 19F 1906 会議室

出席者：学識経験者2名、有識者2名、練馬区立保育園園長経験者1名、
こども家庭部長、保育課長、事務局(保育計画調整課長)

- 1 事務局より本日の流れの説明
- 2 田柄第二保育園運営業務委託応募事業者一覧
事務局より「応募事業者一覧」の説明
- 3 経営診断報告
事務局より「経営診断報告書」の説明
・経営診断結果により、応募事業者の経営状況について確認
- 4 現地調査部会報告
現地調査部会より、応募事業者が運営する保育園の運営管理、保育内容、
施設管理・環境整備、給食運営、保健業務の各項目について報告
- 5 一次審査(事業者の絞り込み)
今回、5事業者の応募があった。選定方針に基づき一次審査を行うことについて
審議し決定した。
一次審査では、提出書類や経営診断報告、現地調査報告に基づき、各応募事業者
を相対的に比較し、二次審査対象事業者を合議の上、決定した。

上記の状況を踏まえ、3事業者を二次審査の対象とした。

第4回 練馬区立田柄第二保育園運営業務委託事業者選定委員会
会議要点記録

令和元年7月28日(日)午前9時15分～12時40分 田柄地区区民館
出席者：学識経験者2名、有識者2名、練馬区立保育園園長経験者1名、
こども家庭部長、保育課長、事務局(保育計画調整課長)

1 応募事業者プレゼンテーション

運営業務委託に応募した3事業者によるプレゼンテーションを、それぞれ40分(事業者のアピール20分・質疑応答20分)行った。

なお、田柄第二保育園の保護者13名の傍聴があった。

《保護者からの質問事項に対する回答》

質問1 田柄第二保育園の取組の中で、継承することが難しいものがあれば教えてください。

事業者A 継承しづらいことはない。理念や目標、地域交流などはその通りだ
と思う。園の特色でリズム遊びを年間通して行っているとある。リト
ミックの経験はあるが、0歳児のリズム遊びの取り入れ方や、3歳児
の発達に応じたカリキュラムなどは、田柄第二保育園のやり方を継承
しなければならないことを注意したい。

事業者B 子どもにとって楽しい行事なので現在行われているのだと思う。子
どもの楽しみをやめてしまうことはもちろん出来ない。どのような行
事が難しいか、大変かは、これから検討することになると思う。まず
は今の行事や事業で子どもが楽しんで取り組んでいるものを継承し
ていく姿勢である。

事業者C 募集要項、保育内容等をホームページで見た中では、全て引き継げ
ると考えている。要望があり、工夫出来る場所があれば、受託後に
じっくりやらせていただくが、まずは継承していく。

質問2 田柄第二保育園の取組を継承していく中で、変えることにより更に良くなるのでは、と考えていることがあれば教えて下さい。

事業者A 産休明けの11時間保育、0歳児の20時までの延長保育の経験があり、地域の子育て支援を積極的に行っているため、軌道に乗れば田柄第二保育園でも行ってみたい。幼稚園や認定こども園では3歳から昼寝をしないので、指針に基づき必要な子どもにはもちろん昼寝をさせるが、3歳児から必要のない子どもはやめようと思っている。また、健康には歯がとても大事であり、0歳児から歯磨きをする効果も確信しているため、やっていけたらと思う。

事業者B 変えることは、非常に子どもに負担をかけることになってしまう。すぐに変えることは、考えていない。子どもの様子を見て、保護者が意見を出しやすく、園が意見を聞けるような体制を作ることで変更につながりつくと考える。

事業者C 田柄第二保育園の保育は、当園で行っている保育と恐らく変わりなく、一人ひとりの子どもを充分に見ていくことだと思うので、まずはその点を大切に引き継いでいきたい。現在行っていることを大事にする中で、今後広げていけることが何かを想像しながら行っていきたい。

質問3 貴事業者が、他事業者より秀でていて、優れていると考えていることを教えて下さい。

事業者A プレゼンテーションで紹介した箇所がアピールポイントである。子どもを大人の都合や力で動かさないような保育をしている。子どもの遊びの邪魔をしない環境を作れるような園であり続けたいと思っている。非認知能力の部分で、米作り、泥んこ遊び、お米ときなどは大事なので力を入れたいと思う。子どもの主体的な遊びと生活、子ども中心の保育園を作れたらと思う。

事業者B 職員が子どもの自尊心、成長、発達を大切にすることに身を置いていることである。子どもは愛されて育っていく「愛育」という当法人の理念を誇りとし、子どもを愛おしんで育てていく理念を貫いて保育にあたりたいと思う。

事業者C コンプライアンス専門の組織や法務の組織もしっかりしており、会社全体で保育事業をバックアップする規模や専門性の高いスキルを有していることが強みである。また、保育士（職員）定着の施策や質の向上のための研修を強化している。法人事業部と園との風通しが良く、従業員の満足度は高く推移している。子ども一人ひとりに寄り添う姿勢を示すためには、事業部が職員一人ひとりに寄り添う姿勢を持つことが非常に重要と考えている。事業部が上から指示を下すのではなく、職員の成長を考えた保育をすることに全員一致であたっているところが強みである。色々な研修の仕組みや制度も併せて強いところと考えている。

2 園長候補者等ヒアリング

運營業務委託に応募した3事業者に対するヒアリングを、それぞれ30分（園長候補者のアピール10分・質疑応答20分）行った。

第5回 練馬区立田柄第二保育園運営業務委託事業者選定委員会
会議要点記録

令和元年7月19日(金)～8月19日(月)

応募事業者が運営する保育園の視察

出席者：学識経験者2名、有識者2名、練馬区立保育園園長経験者1名
こども家庭部長、保育課長、事務局(保育計画調整課長)

応募事業者が運営する保育園を選定委員が現地視察を行った。

事業者Aの運営する保育園の現地視察

- (1) 令和元年7月19日(金)午前10時～11時30分
- (2) " 7月23日(火)午後2時～3時30分
- (3) " 8月19日(月)午後2時～3時30分

事業者Bの運営する保育園の現地視察

- (1) 令和元年7月22日(月)午後2時30分～4時
- (2) " 7月23日(火)午前10時～11時30分
- (3) " 8月9日(金)午前10時～11時30分

事業者Cの運営する保育園の現地視察

- (1) 令和元年7月31日(水)午前10時～11時30分,午後2時30分～4時
- (2) " 8月9日(金)午後3時～4時30分
- (3) " 8月19日(月)午前10時30分～12時

第6回 練馬区立田柄第二保育園運営業務委託事業者選定委員会
会議要点記録

令和元年8月29日(木)午後8時15分～9時15分

練馬区役所本庁舎12F 教育委員会室

出席者：学識経験者2名、有識者2名、練馬区立保育園園長経験者1名、
こども家庭部長、保育課長、事務局(保育計画調整課長)

事業者の選定について

審査基準表の「A 提案書類等による審査」、「B 現地調査・現地視察による審査」、「C 園長候補者等ヒアリングによる審査」の項目ごとに評価し、事業者の選定を行った。

《主な意見》

事業者A：長春会

- ・地域住民との関係性が良好であり、地域の子育て世帯に対し、子育てや食育に関する情報提供などを行っている。
- ・子どもに対する先生の声掛けは優しく、先生同士の連携も良く、落ち着いた雰囲気保育を行っている。
- ・どろんこ遊びなど子どもは自発的に元気に遊んでいた。
- ・園長候補者は経験が十分あり、スキルも高い。

事業者B

- ・誠心誠意、練馬区の保育を学び、継承しようとする強い熱意が感じられる。
- ・職員は、皆、人柄がよく、法人のサポート体制もある。
- ・一斉保育で子どもが主体性をもって遊べていない様子も見られ、より一層の保育の専門性の向上が望まれる。
- ・園長候補者は、経験が十分あり、練馬の保育を学ぶ姿勢が感じられる。

事業者C

- ・統括園長を中心に園内研修を行うなど、保育を向上させる取組がみられる。
- ・園庭の畑やバケツ稲、梅干しづくりなど、食育の取組に力を入れている。
- ・おもちゃ、絵本コーナー、園庭などの保育環境の整備に工夫が望まれる。
- ・園長候補者は、法人の理念をしっかりと理解し保育に取り組んでいる一方、他の事業者と比較して保育士の経験年数が短く、0歳～5歳の園の園長経験がない。

評価の結果、二次審査を行った3事業者は、区の選定基準(1,000点中700点)を上回った。最も総合点が高い事業者A(社会福祉法人長春会)を田柄第二保育園運営業務委託の候補事業者として選定した。